

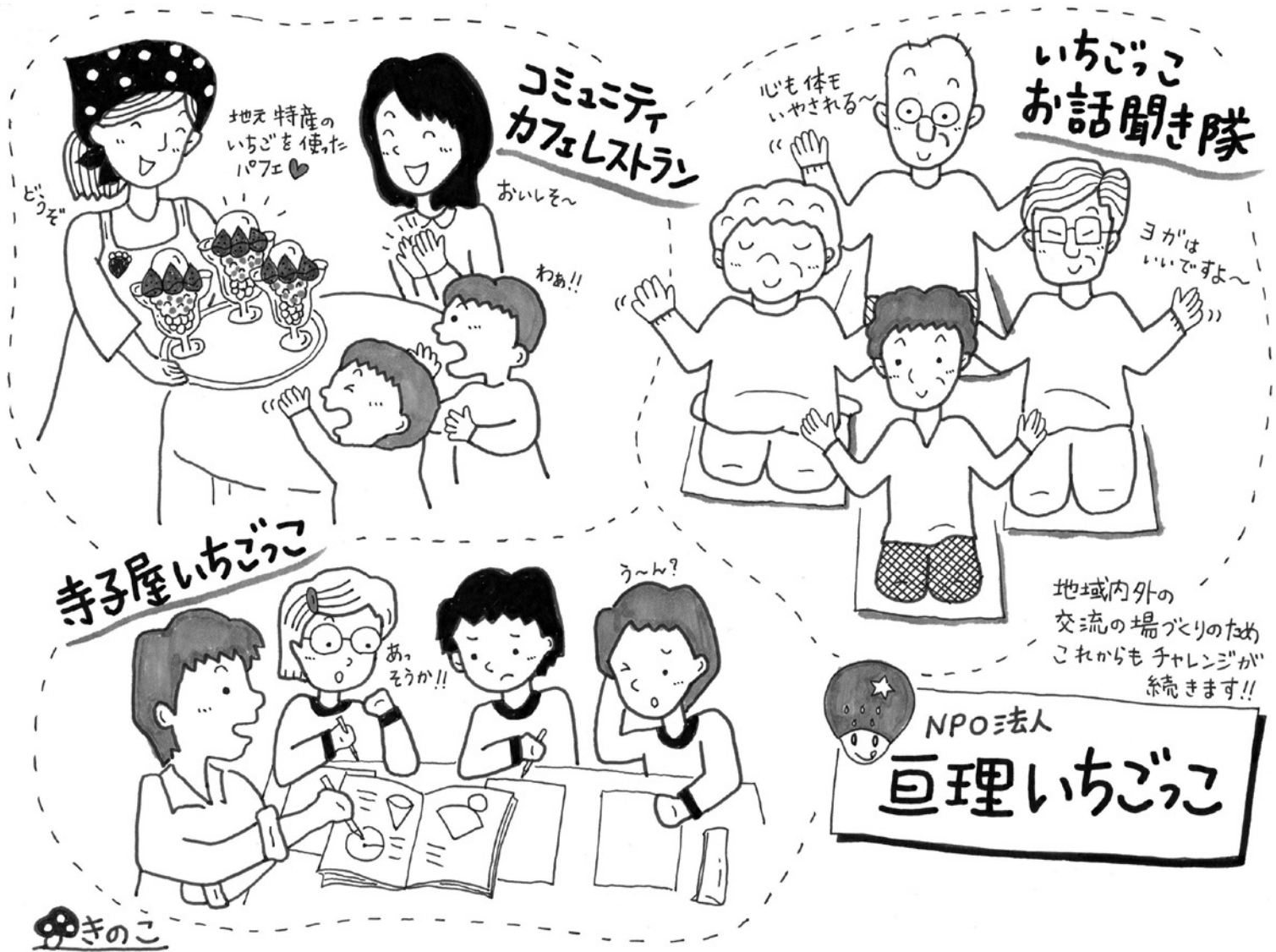
みやぎのボランティア 市民活動情報誌

2015
vol.219
毎月1日発行

8月号

杜の伝言板 ゆるる

月刊



- 地域コミュニティは大きな家族 NPO法人巨理いちごっこ
- 大崎エリアの課題をNPO活動から探ってみると・・・ NPO法人おおさき地域創造研究会
- NPOで高校生の夏ボラ体験2015 さまざまな想いを胸に

みやぎNPOプラザからのお知らせ

NPO夜学 ～世のため人のため、考動する人になるための道知るべ～

杜の伝言板ゆるる
ホームページ





NPO法人 巨理いちごっこ
 マスコットキャラクター
 「いちごっこちゃん」

地域コミュニティは大きな家族

NPO法人 巨理いちごっこ

「震災直後は、とにかく罹災者に温かい食事を取ってもらいたかったんですよね」と、NPO法人 巨理いちごっこ代表理事の馬場照子さんは、振り返りました。



▲馬場代表理事

「震災直後は、とにかく罹災者が冷たく、栄養のバランスに欠けていると感じました。そこで震災から二ヶ月後の五月、「皆さんに温かい食事とくつろげる居場所を提供したい」と、巨理町の蚕業会館を借り受け、コミュニティ・カフェレストランを始めました。そして同時に被災児童・生徒への学習サポート「寺子屋いちごっこ」を開き、傍ら仮設住宅を一戸ずつ回りお話を聞く「いちごっこお話し隊」を続けました。

その後は、拠点を同年七月に巨理小学校の南門前に支援団体から借りた四〇畳のプレハブユニットに移って再開し、翌年の二〇一二年六月には現在の巨理町字南町東にプレハブをレンタルで建て、二年後二〇一四年七月には、プレハブを返して同地にトレーラーハウスを建て、レストラン「いちごっこキッチン・散歩道」を開店しています。

「これまで多くの助成団体や企業、個人から、物資や資金を支援してもらったからこそ、ここまで続けられたんだと思います」と馬場さん。二〇一三年度をピークに寄付がだんだん減り、助成金を出す団体も減ってきている今、巨理の地域課題を見据えて、拠点を活用した被災者支援と地域コミュニティ

の自立、弱者支援など、これからの活動展開を模索しながら進み始めています。



◀レストラン散歩道の入り口

●●●コミュニティ・カフェレストラン●●●

中核とする食を通して集まるみんなの居場所「いちごっこキッチン・散歩道」では、低カロリー、低塩分の日替わりセットを提供しています。天然素材や新鮮な食材を使用しているほか、国産の肉、手作りの出汁と健康維持食として拘っています。

今年から彩りお弁当も始まり、巨理町内のみならず今年度は山元町にも一個でも配達。もちろんオードブルのデリバリーにも応じます。

「ここからからだの健康は、お

▶レストランのトレーラーハウス



▶レストランの様子



いしい食事と会話から生まれていきます」をモットーに活動を続けてきた馬場さんは、「温かな食事を食べながら誰かとお話をする、食事と交流こそが罹災者にとって必要なものであることは、震災から四年が過ぎてまだまだ変わってはいなんです」と継続の意義を話します。

二〇一二年夏には、雇用を意識して製造機器を導入し、製造事業を立ち上げました。旬の時期に収穫した巨理の特産品であるいちご「もういつこ」を瞬間冷凍後、クラッシュする「クラッシュいちご」や、昨年度に取得したアイス製造業の許可を得て、今年は夏から「いちごっこジェラート」を製造販売しています。地元の商品を地元の

雇用で発信していくことこそ、復興への道が開かれていくとすれば、いちごっこは着実にその道を進んでいます。



◀ジェラート

●●● 寺子屋いちごっこ ●●●

団体立ち上げ当初から始めた被災した小中学生の学習支援「寺子屋いちごっこ」は、現在もレストランと同じ敷地内にあるプレハブ施設で罹災の有無に関係なく、子どもの学習指導を継続しています。毎週三回、東北大学の学内サークルいちごっこの学生が学習指導と同時に子どもたちの相談に乗ったり、一緒に遊びながら社会のルールを教えたりと、既に良い関係ができています。

「最近では、障害を持つ親からの希望もあり、時には受け入れることも出ています。これからは障がい者の参加できるサロン活動やイベントの企画を専門性のある団体と連携していこうとつながりを作っています。コミュニティスペースを提供することと合わせ、受け入れる仕組みも考えていきます」と馬場さんは、近い将来、地域のニーズにこたえることも検討

中です。

ただ、これまでは学生への交通費や有償ボランティアとしての活動費が助成されていましたが、二年間の助成もこの三月で終了し、今後も学習支援を継続していくためには資金確保に向けて検討しなければなりません。

今も机上の学びだけではなく、動物とのふれあい体験や農業体験などを通して地域との交流や社会性を身に着ける場になっていきます。将来は「巨理子どもサポートセンター」の確立につなげていきたいという、馬場さんの展望があります。

●●● いちごっこお話し隊 ●●●

ティスペースを活用し、体操教室や工作教室のイベントもあり、罹災者の参加費を割引きするものもあります。

震災後四年半になるうとしていく巨理町ですが、どこにでも起きている高齢化に伴う介護サービスの受け皿や障がい児等支援サービスのニーズは、被災地として更なる課題が顕著となっています。

この地域コミュニティは大きな家族としてとらえると、これからお互いのつながりをつけていく試みとして、ますますいちごっこの居場所が必要です。しかし、今いる有給のスタッフ(常勤一人、パート十二人)の雇用も守れない状況になれば、さらに継続が困難になります。地域が今後、どのように関わっていくかが継続するカギです。

団体設立当初から続けてきた活動で、一年半ほどは、仮設や被災地域家屋を回って、支援物資を届けながら個別にお話を聞くという活動でしたが、その後は他の土地に避難している巨理町民同士がお話してできるサロン形式に変え、仙台、名取、岩沼、角田、大河原で移動お茶サロンを始めました。最近ではサロンでヨガやアロママッサージなどのワークショップも企画されるようになっていきます。

また、いちごっこのコミュニ

NPO法人巨理いちごっこ

〒989-2351 巨理郡巨理町南町東10-1
 ●TEL : 0223-35-7727
 ●E-mail : info@ichigokko.org
 ●URL : http://www.ichigokko.org/

大崎エリアの課題を NPO活動から探ってみると..

NPO法人おおさき地域創造研究会 事務局長 小玉 順子

私の住む大崎市は、鳴子温泉、岩出山、古川、三本木、松山、鹿島台、田尻が合併した人口十三万の市です。イタリア半島に似た、縦に細長い市となつて十年が経ちました。この地域のまちづくりNPOとして十二年活動しています。この間地域の状況が変化してきているのは、高齢化や人口減だけではなく基幹産業である農業が衰退していることなども複雑に絡み合い、震災以降じわじわとしわ寄せがきているのを感じます。

震災後に拠点として設けた事務所は、新しい市民病院の近く米倉地区に位置しています。看板には「まちづくり支援センター きらっと」と掲げており、近所のみなさんには「きらっとさん」と呼ばれています。駐車スペースは二十台、会議室は約三〇人が入る恵まれた場所。その場を活かし、被災して大崎に住む方々のサロン活動や、会って話す「話さナイトカフェ」などが開催されています。

現在、私たちが取り組んでいる主な活動の一つは「内陸部の大崎市で行う被災者支援」の活動。二つ目は「地域にある資源をどう活かすか」といった観光目線の活動。そして三つ目は「若者の参加や参画を高める」ための活動がありま

す。どれも裏返せば今の大崎の問題や課題です。三つの具体的な取り組みについてご紹介してまいります。

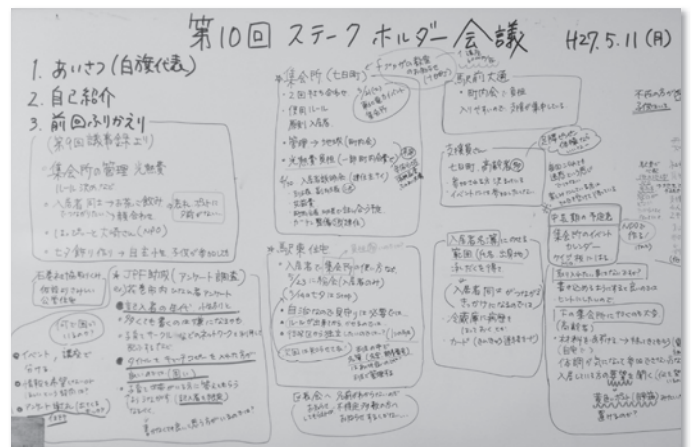
被災者と地域をつなぐ

内陸である大崎の被災者支援は、市内に点在しているみなし仮設にお住いの方々を探すところからでした。そしてサロン活動のほつりお茶つこのみ会へつなぐ、また被災者のための復興公営住宅が完成する時点からその周辺の行政区や各種団体とつなぐといった時間が掛かる活動でした。沿岸部とは違い古川の中心部に四棟の復興公営住宅が建設され、周辺の地域からうらやむ声も聞こえますが、実際は中心部の地域コミュニティがほぼ崩壊寸前でした。この支援業務ではじめて明るみになり、そこも含めてのまちづくり支援に切り替わることになりました。

この事業で特筆されるのは、多方面から話し合い、そして支える「被災者が孤立せずに暮らすには」を考えるステークホルダー会議です。これまでNPOが招集する会議に行政の各関連セクションや社会福祉協議会、法人会、大学、個人事業主がすんなり参加してくだ

さるの、この震災以前にはなかったことでした。昨年からは各月で実施し、情報交換やその時点で課題をテーブルに載せて話し合う場になっています。

具体的には、公営住宅入居後体調が芳しくなかった方を当法人から健康福祉課の看護師さん、社協の地域包括支援センターとへとなぎ、顔の見える連携ができた入居者の不安を緩和できました。また公営住宅に隣接する集会所の運営に関しては、それぞれの地域の実情と入居者の自治が育つのを待ちながら進むため、情報の共有は欠かせません。



◀ステークホルダー会議

最近嬉しかったのは、一つの公営住宅で班長さんを中心に独自の集合が開催され、集会所の利用ルールが決まりました。自治のため的一步が見えはじめています。

●●●観光地でもつなぐ

二つ目の「地域にある資源をどう活用するか」と実施している有償のガイド役「まちかどコンシェルジュ」事業です。大崎市には鳴子温泉やマガンの飛来地である田尻など観光のポテンシャルの高いエリアから、通り過ぎてしまうような岩上山や三本木のまちがあり



▶まち歩き

ます。三年前に実施した地域資源調査で感じたまちを歩く楽しさ、どうしてこれまで地元なのに知らなかったのだろう。しかし観光の入込客数は落ち込んでいて、温泉だけではお客様は満足しません。

一昨年、地元で企画した「発酵美人旅 in みやぎ・大崎」に東京や仙台から参加した女子旅のツアー客をご案内すると、ほとんどの方が地元の人とのまち歩きが心に残ったという感想でした。車でしか通ることがなかったまちを歩く楽しさ、そこには人とひとが出会って地域と繋がるしくみができるのです。発酵美人旅のお客様のバッグには、大崎の美味しいものや地酒があふれるほど詰め込まれていました。たった二日間の出会いなのに、昨年はリピーターさんが三人も来てくれました。

大人数を観光地へ運んだのは昔の話です。鳴子温泉も以前のような活況はありませんが地道に人とひと、人とまち、人とのものをつなぐ活動は続きます。

●●●若者の語り場

三つめの活動は、会って話す場「話さナイトカフェ」の開催です。三十七回を数えます。この始まり

▶話さナイトクリスマス



は、地域の課題として上がった「地域での若者の参加や参画が少ない」というものでした。しかし若い人にその話を振ると「自分達が入れるようなその場が地域にはない」と言うのではないですか。「じゃあその場をこの事務所につくろう」と始まったのが「話さナイトカフェ」です。この活動で出会った人が繋がり、その後の活動に生かしていただくのがねらいです。「ゆるく行なっているお陰で継続しているの」とカップルも二組誕生しました。

手法は「ワールドカフェ」。多様な参加者と席を替え、カフェのような空間で話していくだけの話し合いの場です。何か糸口を見つけたい、繋がりたいたい、情報を得たい、発信したい、とお集まりいただ

ています。テーマは「多文化共生」「シェアハウス」「モノヅクリ」「旅」「News Cafe」「アグリ」など様々です。このような場合は、その後三本木にも「青年の会」が生まれ、飛び火して岩手県花巻市にも「かだつてかだるべカフェ」が開催されています。

昨年から事務所の裏に一〇〇坪くらいの畑を借り、被災者のみなさんとジャガイモやトマト、ナス、カボチャ、ピーマン、バジルなどを植え、育成と収穫を楽しんでいます。

種を蒔いて「芽」がポツと出たり、実が大きくなるのを楽しめるのは、手間がかかることですが喜びも大きいものです。同じように地域の課題を解決するには、人とひとが関わり合うための「しかけ」をつくり、地域のチカラを信じながら、小さな変化を喜び合える仲間がいることが大事だと感じています。

NPO法人おおさき地域創造研究会

〒989-6134 大崎市古川米倉字屋敷42-1
 ●TEL : 0229-25-9956
 ●FAX : 0229-25-9958
 ●E-mail : mail@otsk-kiratto.org
 ●URL : http://otsk-kiratto.org/

さまざまな

想いを胸に



「こんにちは！」「会場すぐにはなかった?」「高校名とお名前教えてください!」

私たちが杜の伝言板ゆるる(ゆるる)が、高校生と初めて交わす挨拶です。

高校生たちの夏休み到来とともに、「NPOで高校生の夏ボラ体験」(夏ボラ)の季節がやってきました。これから始まるボランティア体験の前に開催する事前学習会に、緊張気味にやってきた高校生の気持ちを少しでも和らげようとゆるるスタッフは笑顔で迎えます。

●●●希望のNPOでボランティア●●●

高校生が「地域の課題解決のために日々奔走しているNPOや市民活動団体について理解を深め、ボランティア活動に一步踏み出すきっかけに」と、始まった夏ボラ。今年の応募は、なんと三〇九名。より多くの高校生にボランティアを身近に感じてもらいたい!と、六月末に募集を締め切った後も、受入NPOと相談し、人数枠をぎりぎりまで調整しました。

でも、ゆるるでは、「体験を通してNPOスタッフとしっかり向き合ってほしい、また、他校の高校生と出会う機会にしてほし

い」という願いから、なるべく同じ高校や学年、友達同士と一緒にならないよう組み合わせを考慮していることから、どうしても希望通りにいかない高校生が出てしまいます。その結果、人気があり集中したNPOに行けない、友達と一緒に参加できない、などの理由でやめてしまう高校生や、急遽部活が入ってしまった、課外授業日になってしまった等々、やむなくキャンセルする高校生もいるため、どうしても実際に体験する高校生は減ってしまいます。今年も、体験する前の必須プログラムである事前学習会に参加した高校生は、一〇二名になりました。

●●●重要な事前学習会●●●

事前学習会は、NPOが社会の中で必要とされる意義や人の関わり、そして地域の課題に気づき、それを解決したいと活動している多様なNPOを知ってもらう場です。この学習を経て体験に踏み出すことで、よりその活動の意味や自分が参加する価値に気付いてもらえるかと期待しています。また、その体験を人に伝える手法として文章の表現方法も学びます。そして、受入団体と顔合わせをすることで、

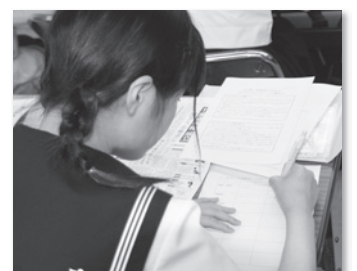
高校生自身の不安を解消する大切な場でもあります。

今年は、大崎市、石巻市、仙台市の三会場で開催しました。各会場では、ほとんどの高校生が高校の制服や落ち着いた色合いやデザインの私服で参加しており、これまで十三年間実施してきた過去を振り返ってみると、ここ数年の傾向として服装は全般的におとなしい印象です。

今回、ゆるるでは始まる前に、今年参加した高校生はどんな思いから、どんなことを期待して夏ボラに参加してきたのか、聞いてみました。

●●●YOUはなぜ夏ボラを?●●●

幼 幼稚園に通っていた頃から、青葉区の地下道にいるホームレスの方々を見ていて気になっていたのNPO法人仙台夜まわりグループを体験先を選びました。毎年募集要項は見えていましたが部活動があつて参加できず...でも、今年度は部活動を引退したし、フィリピンで海外ボランティアを経験



◀体験を伝えるため、ワークにも力が入ります

したので、積極的にボランティア活動に参加してみようと思ったからです(仙台白百合学園高等学校・後藤萌さん)

何

もしないで夏休みをただ過すのはもったいないと思いい、ボランティア活動に触れてみることで刺激をもらえるのではないかとNPO法人ホームひなたぼつこで体験することにしました。親が同じような子ども関係の仕事をしていて、大変さも知っていますが、そこも含めてこの機会に、いろいろ学びたいです(泉高等学校・渡辺滉也くん)

三

年生まで、クラブ活動の卓球に集中してきたんで、それ以外の思い出がないのはちょっとさびしいなあと思ったので、高校生最後の夏休みに何か記憶に残ることをしたかったです。卒業したら、専門学校で保育士の資格をとって幼稚園の先生になろうと思っっているんで、体験先は子どもに関わるボランティアを選びました。NPO法人アフタースクールぱるけでは、初めて障がいのある子どもに出会うことになるので、少し緊張しています。でも楽しみです(名取高等学校・秋葉優衣さん)

将来の夢

がなくて、大学進学についてもはつきりしていません。そんな私でも、この夏ボラを体験



▲体験前に、じっくり顔合わせ

することで、何か見えるかもしれない!と思って。子どもも好きだったから冒険あそび場・せんだい・みやぎネットワークに応募しました(泉高等学校・K・Sさん)

中

学校の職場体験も、せんだいファミリーサポート・ネットワークだったんです。申込数が多いので、高校の先生からは、希望した団体に参加できるのは珍しいんだよって言われました。進路を考える時期になって、やっぱり子どもが好きだと思って。今年の夏、進路を決定するために、もう一度参加して決めようと思いました(名取高等学校・細川樹菜さん)

以

前ジュニアリーダーをやっていた延長で、ボランティアにも興味があって応募しました。今回は、せんだいファミリーサ

ポート・ネットワークで体験します。将来、子どもに携わる福祉関係の道に進みたいので、体験からたくさん学びたいし、夏ボラで子どもたちと仲良く過ごして、元気をもらいたいな(泉高等学校・鈴木里梢さん)

部

活に入っていないため、先輩や年上の人と話すことが苦手です。来年、三年生になれば、面接もある。社会に出たら、たくさん話す機会が増えますよね。そのためにも年上の人や、いろんな人と話すことに慣れておきたいと思って応募しました。今回、ソキウスせんだいで体験します。いろんな人と話す機会を持つことでコミュニケーション能力を高めたんです(東北生活文化大学高等学校・高橋いづみさん)

私

も震災を経験したので、同じように震災を経験した皆さんと想いを共有しながらコミュニケーションをとっていききたいと思ってにじいるクレヨンでボランティアをします(石巻市立桜坂高等学校・雁部夏実さん)

八

マボウフウという海浜植物について、知らなかったので、「なんだろう」と思い、名取八マボウフウの会でボランティア体験をしたいと思いました(名取高等学校・佐藤彩伽さん)

いろいろな想いをもって夏ボラ体験に参加したことが分かりました。特に高校三年生のコメントには、先の進路を見据えて体験先を選び、自身の判断を見きわめたいという選択には、静かな熱意がありました。

今年の夏ボラも七月二十二日からボランティア体験が始まりました。今年は、どんな体験が待っているのでしょうか。きつと最終日には涙が出てくる思いや、ハツとする気づきがたくさんあることでしょうか。そんな体験がいっぱい詰まった体験談を待っています!

去にも仮設住宅などでボランティア活動に何度か触れていたものの、NPOについてあまり知らなかったのは是非知りたいと思っ、参加しました。石巻のNPO法人にじいるクレヨンは、皆がニコニコしているイメージがあって、僕もそんな風に人を楽しませることができたらと思って選びました(石巻西高等学校・今野拓海くん)

NPO夜学

～世のため人のため、考動する人になるための道しるべ～

みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPOプラザからのお知らせです。

「NPOってなんだろう」「何か社会に役立つことがしたい」「仕事とは別の人間関係が作りしたい」。NPO夜学では、そんなあなたをお待ちしています。

NPO夜学とは、みやぎNPOプラザが実施する講座型プログラムです。

普段は一般企業で働いている社会人や大学や専門学校に通っている学生のみなさんに、NPOについての理解・関心を持ってもらうとともに、ゆくゆくはNPOに参加したり、NPOを立ち上げたりするようになってもらいたい、そんな思いが込められています。

NPO夜学は一昨年から始まり、今年で三年目。ここでは今年プログラムの内容を簡単に紹介します。

まずはNPOを知ろう

今年のNPO夜学は全四回開催予定です。目指すところは参加者が社会のために考え、動ける人となる、その道筋を示していくことです。

前半はNPOについて知ってもらうことから。第一回のテーマは、

◀昨年のNPO夜学の様子。ゲストを囲んで参加者が話を聞きました。



「NPOことはじめ、知ることから始めよう」。まずはNPOについての基本を学びます。

続く第二回は「働きながらNPO」。他に本業を持ちながらNPO活動をしているゲストを招きます。参加者と同じく普通の社会人としての側面も持つゲストの話から、「なぜNPOとして活動しているのか」「どうしたら仕事とNPOの両立ができるのか」を聞き、参加者が今後NPOに関わっていくうえで参考とするためです。

NPOへのボランティア参加で実践!

後半は個別のNPOについて知

り、そこに参加していくことを目指します。これが第三回「NPOのリアルを知る、体験する」と第四回「NPOと関わるための次の一歩」です。

参加者のみなさんは第三回に登場するNPO三団体のうち、いずれかでボランティア体験をします。そしてその体験を振り返るのが第四回となります。

ボランティア体験を通じて「NPOとはどういうものか」を体験するだけでなく、「どうしたらそのNPOの活動がよりよいものとなるか」、「そのためにできることは何か」をNPOと同じ目線で考えられるようになる。これが今年のNPO夜学が描く「考動する人」です。

あなたが「考動する」ための道しるべはNPO夜学が用意します。ぜひ、NPO夜学への参加をきっかけに、社会のために考え、動く、その一歩を踏み出しましょう。

初回の開催は十月七日。各回の詳細については、後日みやぎNPOプラザのfacebookやみやぎNPO情報ネットで紹介していきます。

プラザのNPO相談

お申込みはコチラから

法律相談

8/28(金) 13:00~17:00

NPOのためのマネジメント講座
人間関係のトラブルを防ぐしくみづくり

9/11(金) 13:30~15:30

基本を押さえる!
NPOのための税金初級講座

9/16(水) 13:30~16:30

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者：認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎ 022-256-0505

☎ 022-256-0533

✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>

平成27年度 仙台市若林区 まちづくり活動助成 追加募集

- 助成対象：地域課題の解決を図るもの、地域の自助力の向上を図るもの、地域や区の特徴をいかし、その魅力を高めるもの、その他、助成することが適当と認められるもの
- 対象団体：若林区内に活動拠点を有する市民団体、団体の構成員のおおむね半数以上が若林区内に住所があるか、通勤・通学をしていること
- 助成金額：上限50万円
- 応募締切：8月19日(水)17時必着
- 連絡先：若林区まちづくり推進課地域活動係
TEL：022-282-1111(内線6137)

公益財団法人イオン環境財団 2015年度 第25回環境活動助成先公募

- 助成対象：生物多様性の保全と持続可能な利用のために活動する事業(植樹、森林整備、砂漠化防止、里地、里山、里海の保全等、詳細は下記URL参照)で、フィールドワークを伴う活動
- 対象団体：開発途上国および日本国内で上記活動分野に該当する団体
- 助成金額：総額1億円
- 助成期間：2016年4月1日～2017年3月31日
- 応募締切：8月20日(木)必着
- 連絡先：公益財団法人イオン環境財団事務局
TEL：043-212-6022
URL：<http://www2.aeon.info/josei/>

平成27年度 被災地復興助成

- 助成対象：①活動助成：東日本大震災で被災された障がい者の生活復興支援を目的とするボランティア・市民活動
②施設整備助成：岩手・宮城・福島の被災地域に拠点を置く障がい者支援団体が事業に必要な建物を新築または改修する工事
- 対象団体：福祉活動やボランティア活動に取り組む団体・グループ(法人格の有無不問、個人での申込不可)
- 助成金額：①1件あたり上限50万円
②1件あたり上限300万円
- 応募締切：8月27日(木)
- 連絡先：公益財団法人木口福祉財団事務局
E-mail：josei@kiguchi.or.jp
URL：<http://kiguchi.or.jp/>

公益財団法人ベネッセこども基金 重い病気を抱える子どもたちの学習支援活動助成

- 助成対象：重い病気により長期入院や長期療養をしており、学びへの意欲向上や学習支援などが必要な子どもたちに対し、学習機会の提供や環境づくりなどの活動を行うもの

- 対象団体：NPO法人、財団法人等の非営利的活動を行う団体
- 助成金額：総額2,000万円以内
- 応募締切：8月31日(月)必着
- 連絡先：公益財団法人ベネッセこども基金事務局
TEL：03-5320-3504
(月～金10:00～17:00祝日を除く)
URL：http://benesse-kodomokikin.jp/subsidy/learningopp_2.html

平成27年度(第22回)ボランティア活動助成

- 助成対象：高齢者、障がい児者、児童問題等に対するボランティア活動
- 対象団体：ボランティア活動を目的とした団体・グループ
※平成24年度(第19回)以降に当財団の助成を受けた団体・グループは本年度の応募資格はありません
- 助成金額：1団体あたり上限30万円
- 応募締切：9月15日(火)当日消印有効
- 連絡先：公益財団法人大和証券福祉財団事務局
TEL：03-5555-4640
URL：<http://www.daiwa-grp.jp/dsf/index.html>

公益財団法人トヨタ財団 2015年度国内助成プログラム

- 助成対象：地域の担い手となることを目指す若者が地域住民とともに地域課題の解決につながる新たな仕事づくりに向け実施するプロジェクト、地域で活動するNPO等の組織が地域課題の解決につながる仕事の未来の担い手を育成するプロジェクト
- 対象団体：日本国内の地域で活動する様々な主体、地域の未来の担い手を目指す若者(地域内外)
- 助成金額：総額1億円
- 応募締切：9月30日(水)15:00
- 連絡先：公益財団法人トヨタ財団 国内助成プログラム担当(喜田、大澤、加藤、石井)
TEL：03-3344-1701
URL：<https://www.toyotafound.or.jp/>

障害者市民防災活動助成

- 助成対象：障害者市民が災害にあったとき、避難行動や避難生活がスムーズに行われるための活動、支援を有効に行うためのネットワークづくりなど、詳細は下記URL参照
- 対象団体：NPO法人、任意団体
- 助成金額：1事業につき1回上限10万円
- 応募締切：随時(ただし、事業実施前3ヶ月以前に申請)
※単年度(1月～12月)で助成額が100万円に達した場合、その年度の助成申請を締切、申請前に事務局へ要確認
- 連絡先：NPO法人ゆめ風基金事務局
TEL：06-6324-7702
URL：<http://yumekaze.in.coocan.jp/fund/fund.html>

●連絡先：エル・パーク仙台管理事業課
TEL：022-268-8300 FAX：022-268-8304
URL：http://www.sendai-l.jp/

8/30 eye eye (アイアイ)福祉機器展2015 —視覚障害者のための生活用具展示会—

見えない方・見えにくい方の生活に役立つグッズを集めた展示会です。日常生活のさまざまな場面での読み書きに便利な拡大読書器、パソコンの画面の状態を音声で読み上げてくれるソフト、家事や趣味に役立つグッズなどが集まります。

- 日時：8月30日(日) 10:00～16:00
- 場所：仙台市福祉プラザ(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 内容：出展予定業者・団体など詳細については下記URLからご確認ください。視覚障害者の生活支援やリハビリテーションに関する情報紹介コーナーや医療・福祉教育などの相談に個別に応じるブースもあります
- 参加費：無料
- 主催：NPO法人アイサポート仙台
仙台市中途視覚障害者支援センター、
仙台市(仙台市障害者総合支援センター)
- 連絡先：NPO法人アイサポート仙台
〒984-0073 仙台市若林区荒町215 1階
TEL：022-212-1131 FAX：022-212-1136
E-mail：sisien@sky.plala.or.jp
URL：http://www15.plala.or.jp/isupport/eyeeyekikiten.html

8/30 Sonido del Viento ～風の音コンサート～

伝統的な日本民謡と世界の民族音楽の融合による優しく力強いサウンドをお楽しみください。1930年に建築された石造りのチャペルでのコンサートです。どんな響きがするでしょう。お楽しみに！

- 日時：8月30日(日) 15:00～16:00
- 場所：岩沼教会(岩沼市桜2-3-2)
- 入場券：前売800円、当日1,000円
- チケット：猪股時計店で販売中(岩沼市中央1-5-22)
- 主催：岩沼歩いて暮らせるまちづくりネット
- 連絡先：事務局担当：及川 TEL/FAX：0223-24-4090

9/12 STOP! DV市民講座～あなたの身近な人への理解と支援～ 第2回子どもとDV「～耳を傾けよう～ 子どもにもたらす影響とケア」

ごく一部の人間に起こるものと思われがちなDV(ドメスティック・バイオレンス=配偶者やパートナーからの暴力行為)。DV被害の実態と早期発見、当事者の回復に向けて、一人ひとりができることを考えます。

- 日時：9月12日(土) 10:00～12:00
- 場所：仙台市男女共同参画推進センター
エル・ソーラ仙台 大研修室(アエル28階)
- 講師：白川 美也子氏
(「こころとからだ・光の花クリニック」院長)
- 内容：家庭でのDVが子どもにもたらす影響と、その対応について
- 定員：70名(先着順)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAXで申込み(受付8月6日(木)～)
- 託児：6ヶ月以上小学1年生まで(要申込・先着順)
(託児利用料1人300円、締切9月3日(木))
- 主催：仙台市
- 企画：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連絡先：仙台市男女共同参画推進センター
エル・ソーラ仙台 相談支援課
TEL：022-268-8302 FAX：022-268-3911
URL：http://www.sendai-l.jp/

9/12 宮城初上映!長編ドキュメンタリー映画 「シロウオ—原発立地を断念させた町」

さんせい??はんたい??どっちもOK!未来の子どもたちに残す環境を一緒に考えてみませんか?とりあえず見でください。「シロウオ」は30年以上も前に原発立地を断念させた町のドキュメンタリー映画です。

- 日時：9月12日(土) ①10:00～ ②18:30～
各開場は30分前 ②は監督トークあり
- 場所：せんだいメディアテーク 7階スタジオシアター
- 入場料：前売券1,200円、当日券1,500円
※前売チケットは下記連絡先にE-mailで申込み
- その他：【監督トーク&懇親会】
夜の部上映終了後に監督トーク、トーク後に懇親会有り。懇親会参加ご希望の方は事前にE-mailで申込み(懇親会の参加費4,000円)
※監督トークは申込&参加費は不要
- 主催：「シロウオ」上映—宮城実行委員会
- 連絡先：TEL：080-5550-9507
E-mail：shirouo.miyagi@gmail.com

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**
- 締切：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 紙面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPOネット」にも提供いたします。

認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL：022-791-9323 FAX：022-791-9327
e-mail：npo@yururu.com

寄付のお願い

みやぎのボランティア・市民活動の情報を発信している月刊情報誌「月刊杜の伝言板ゆるる」。1997年の創刊以来、皆様のご寄付と応援に支えられて、毎月欠かさず発行を続けてきました。これからも情報誌を通して、みやぎの市民活動を発信し、ボランティアや市民活動に取り組みやすい環境をつくっていきます。活動へのご支援よろしくお願いたします。

「認定NPO法人」である当法人へのご寄付(賛助会員の会費含む)は、税制上の優遇措置(寄付控除)の対象となります
当法人を応援してくださる方のご寄付は、こちらから受け付けております。

【お振込み先】
郵便振込口座 02250-0-43800
加入者名 特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
※会員申込については、P14をご参照ください

- 企画実施：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

8/27 専門相談会 「市民活動団体のためのIT相談会」

市民活動団体、NPOで活動の皆さん！組織運営や広報、そして日々の活動に、もっとITを活用してみませんか？費用をかけないHPの作り方や、HPとSNSの連携運用、セキュリティ対策など、IT操作・活用に関する相談をお受けします。市民活動に携わりITについて経験豊富な相談員が対応します。ぜひお気軽にご相談ください。

- 日時：8月27日(木) ①13:30～14:30
②14:45～15:45 ③16:00～17:00
- 場所：名取市市民活動支援センター
- 相談員：武藤 正勝氏(NPO法人イー・エルダー東北支部)
- 参加費：無料
- 定員：先着3団体(予約制)
- 相談時間：1団体約1時間
- 対象：名取市内で活動するNPOや市民活動団体などのメンバー、名取市にお住まいで市民活動に興味のある方
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
- 申込締切：8月24日(月)
- 主催：名取市
- 連絡先：名取市市民活動支援センター(担当：木村、菅原)
〒981-1232 名取市大手町5-6-1
TEL：022-382-0829 FAX：022-382-0841
E-mail：npo@natori-npocenter.or.jp
受付時間：月曜～土曜(火曜日以外)9:30～21:00
日曜・祝日 9:30～17:00

8/29 市民活動を「知る」時間 ハジマルフクラムプロジェクト 「市民活動って、知っていますか」

東北から全ての人にアートを楽しむ機会の提供をしているARCTさんと、加害者家族の支援を行っているNPO法人World Open Heartさんに、それぞれの活動にまつわるストーリーをお話いただきます。

- 日時：8月29日(土) 13:30～15:30
- 場所：仙台市市民活動サポートセンター 地下1階市民活動シアター
- ゲスト：澤野 正樹氏(ARCT事務局長)
阿部 恭子氏(NPO法人World Open Heart理事長)
- 内容：仙台で活動している2つの団体をお招きし、活動をはじめたきっかけから現在に至るまでのお話を伺います
- 定員：25名程度
- 参加費：500円(ワンドリンク付)
- 申込開始：8月1日(土)
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
E-mailで申込みの方は、件名を「知る時間」とし、氏名・年代・住所・TEL・FAXをお知らせください
- 主催：仙台市市民活動サポートセンター
- 連絡先：TEL：022-212-3010 FAX：022-268-4042
E-mail：sendai@sapo-sen.jp

8/29 8月の介護講座 サラリーマン介護講座 ★介護保険制度について学ぼう!★

生活に手助けが必要になっても、住み慣れた街で暮らし続け

たい。介護研修室は、そんな願いを実現するために、介護に関する知識や技術を学ぶ場として設置されました。さあ、今、心に浮かぶ誰かのためにできることから始めませんか。

- 日時：8月29日(土) 10:00～12:00
- 場所：仙台市シルバーセンター 6階第2研修室
- 内容：「知っておきたい！介護保険の基礎知識」
講師：黒田 至氏(遠見塚地域包括支援センター社会福祉士)
- 定員：40名(先着順)
- 参加費：無料
- 申込方法：TEL、FAX、E-mailまたはシルバーセンター5階事務室で申込み。申込時、氏名(ふりがな)、希望講座名、TELをお知らせください
- 主催：公益財団法人仙台市健康福祉事業団
- 連絡先：公益財団法人仙台市健康福祉事業団 介護研修室
〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-3-2
TEL：022-215-3711 FAX：022-215-3718
E-mail：senkaigo@nifty.com
URL：http://www.senkenhuku.com

8/29 災害ボランティア入門

個人でできる災害への備えや災害支援に関する一般知識、被災地での注意すべきケガや病気、出発前から活動後までの心構えなどについて学ぶ講座です。誰にでも必要な知識を今から身に付けておきましょう。どなたでも大歓迎です!!お気軽にご参加ください。

- 日時：8月29日(土) 13:00～16:30
- 場所：仙台市市民活動サポートセンター 3階研修室2
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 内容：〈第1部〉自分が被災した場合
〈第2部〉支援する場合
〈第3部〉日常からできること
※内容の詳細は下記URLからご覧ください
- 定員：20名 ※最少催行人数5名
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTELまたはHPから申込み
- 主催：一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター
- 連絡先：TEL：03-3363-7967
(受付10:00～18:30/土・日曜・祝日定休)
URL：http://pbv.or.jp/volunteer_training/basic/

8/29 ジェンダー論公開講座「介護」

家族を介護する10代、20代の若者の存在や、いまだにケア役割は女性のものと思われ、介護職が賃金や待遇の面で正当に評価されていないなど、「ケアワーク」をめぐる課題は深刻化しています。誰もがいつかは直面する「介護」について、ジェンダーの視点で考えます。

- 日時：8月29日(土) 13:30～15:00
- 場所：エル・パーク仙台 セミナーホール 141ビル
(仙台三越定禅寺通り館)5階
- 講師：浅野 富美枝氏(宮城学院女子大学教授)
- 申込方法：事前申込み不要
- 参加費：1,000円
- 定員：50名
- 託児：6ヵ月以上小学1年生まで(託児料1人につき300円)
※8月20日(木)まで要申込。障がいのあるお子さんについてもご相談ください
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAXで申込み。ホームページからも申込可

8/22 8・22仙台市民集会 安保法制は何が問題なのか？

安倍政権は、安保法制を衆議院で強行採決。しかし国会ではこの法案が「合憲なのか憲法違反なのか」ということ以外の議論が十分になされているとは言えません。この法案がこれからの日本社会に何をもたらすのか、多角的な面から議論し検討する集会を行います。

- 日 時：8月22日(土) 13:30～16:00
- 場 所：仙台市シルバーセンター 第2研修室
(仙台市青葉区花京院1-3-2)
- 内 容：◆発題
「安保法制は憲法違反である」
佐久間 敬子氏(弁護士)
「戦争を知らない政治家が戦争をしようとしている」
小野寺 哲氏(戦争体験者)
「アメリカに従属して武力行使する愚かさ」
石川 雅之氏(パレスチナと仙台を結ぶ会)
「まじめに学校教育を考える、今だからこそ」
土屋 聡氏(小学校教員)
◆質疑応答・意見交換
- 参加費：300円
- 主催：パレスチナと仙台を結ぶ会
- 連絡先：担当：石川 TEL：022-251-3106

8/22 デザインレイアウト講座

市民の情報発信に必要な印刷物デザイン・レイアウトの基礎を学んで、手にとってもらい読んでもらえる印刷物制作のお役に立てる講座です。

- 日 時：8月22日(土) 9:30～11:30
- 場 所：多賀城市市民活動サポートセンター会議室301
- 講 師：真山 正太氏(グラフィックデザイナー)
- 定 員：15名(事前申込み、先着順)
- 参加費：1,000円(当日会場にてお支払いください)
- 申込方法：下記連絡先にTEL・E-mailで申込み
- 主催：一般社団法人メディアデザイン
- 連絡先：TEL：090-3049-0613 FAX：022-224-5308
E-mail：kouza@mediadesign.jp
URL：http://mediadesign.jp/

8/22 子宮頸がんワクチンについて知ろう

接種した女の子から強い痛み、歩行困難、記憶障害などの

重篤な副反応が報告されている子宮頸がんワクチン(以下、HPVワクチン)。副反応被害にあった子のお母さんから被害実態をお聞きし、疑問や不安な点について一緒に考えます。

- 日 時：8月22日(土) 13:00～16:00 (開場12:30)
※懇親会16:20～開催
- 場 所：仙台市民活動サポートセンター
- 講 師：平原 明美氏(全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会埼玉支部長)
- 内 容：ワークショップ(HPVワクチンや女性の健康に関するブレインストーミング)、講師からのお話、デスクッションなど
- 対 象：①HPVワクチンの接種層の子供を持つ親
②被害者及びその親
③HPVワクチン問題に関心を持つ学生、一般市民
- 定 員：10～15名
- 参加料：無料
- 申込方法：下記連絡先に事前問合せのうえ、参加
- 主催：被害被害者支援サークル
balloons+ (ばるーんず・とす)
- 連絡先：E-mail：balloons.toss@gmail.com
URL：http://balloonstoss.otogirisou.com/

8/27 エクセルで簡単! NPOの帳簿のつくり方

多桁式現金出納帳では、簿記の知識がなくても簡単に現金と経費の管理ができます。手書き計算は面倒だけれど、会計ソフトの導入もちょっと敷居が高いという団体には、とても有効なツールです。より簡単な方法で帳簿をつけて、間違いない会計を目指しましょう。

- 日 時：8月27日(木) 13:30～16:30
- 場 所：みやぎNPOプラザ 第1会議室
- 講 師：小野 恵子氏(会計サポーター)
※会計サポーターとは、長年の企業会計・経理経験を持ち、NPO法人会計基準を学んだ有償ボランティアです
- 内 容：日々の会計業務から決算書作成までの流れを確認エクセルで「多桁式出納帳」の記帳にチャレンジ! など
- 対 象：NPO・市民活動団体の代表、役員、会計担当者など
※エクセルの操作ができる方
- 定 員：15名(申込先着順)
- 参加費：1,000円(税込)
- 持ち物：ノートパソコン(「エクセル」インストール済)
※当日、インターネットには接続しません
- 申込方法：参加申込書にご記入のうえ、FAX、郵送、E-mailでご送付ください。TELでの申込みも可。参加申込書は下記URLリンク先からダウンロードできます
URL：http://www.miyagi-npo.gr.jp/plaza/jigyuu/koza_k20150827.html
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ)

縦覧中

●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます

■宮城県 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html>

※2015年6月11日～7月10日まで、NPO法人に認証された団体はありません。

宮城県のNPO法人数

783団体

- 宮城県等所轄：374団体
- 仙台市所轄：409団体

※2015年7月10日現在

NPO法人の設立を新しく申請した団体

宮城県等所轄分6月11日～7月10日

	団体名	所在地	活動内容	受理日
宮城県等	リアスの森応援隊	気仙沼市	森林の整備が遅延した森林等を対象に森林の適正な整備、森林愛護や自然保護の啓発事業	6/11
	いのちのパン	多賀城市	社会の中で恵まれない環境にある方に対する生活支援及び交流活動	6/11

●連絡先：TEL：070-5548-2186
E-mail：grieffoffice@gmail.com

8/16 うつのピアカウンセリングの場 「仙台こころの杜」に集まれ! NO.8

うつに悩む方! 不安を感じている方! 心の交流会を通じて、
本当の自分を取り戻そう!

- 日時：第39回 8月16日(日) 13:30~15:00
第40回 9月13日(日) 13:30~15:00
- 場所：仙台福祉プラザ3階託児室(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 参加費：300円/1回(茶菓/連絡代他)
- 申込方法：下記連絡先へTEL・E-mailで申込み
- 主催：仙台こころの杜
- 連絡先：代表：徳島
TEL：022-235-1804(受付8:00~20:00)
E-mail：mtokushima@ams.odn.ne.jp
URL：http://kokoronomori.jimdo.com/

8/19 つるがや元気会健康講座 脳卒中が引き起こす「道に迷う」症状

“迷わず街を歩く!”そのためにはどのような方法が利用できる
のでしょうか。脳卒中後遺症の分析から分かることを、講師
の先生に教えていただきます。ふるってご参加ください。

- 日時：8月19日(水)14:00~15:30
- 場所：鶴ヶ谷市民センター室(旧みやぎ生協鶴ヶ谷店2階)
- 講師：澁谷 直樹氏(東北文化学園大学教授)
- 参加費：無料
- 主催：つるがや元気会
- 連絡先：ひまわり手芸店(担当：芦澤)
TEL：022-251-5663

8/20 熟年人生塾 仲間募集!

「明るい気持ちのあっさり人生塾」は、熟年者同士の交流を深め、
楽しい日常生活を送るための活動をしているサークルです。

- 日時：8月20日(木)、8月27日(木)、9月10日(木)、
9月24日(木) 各13:00~15:00
- 場所：みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 内容：パソコン初級者教室、熟年者川柳、ボケ防止対策、
基礎英文法教(英検3級レベル)、お悩み相談受付
(就活・老後のこと、現在困っていること)など
- 定員：各回15名(要予約)
- 参加費：1,000円
- 申込方法：下記連絡先にTELで申込み
- その他：会場までのアクセスが困難な方はお気軽にお電話
ください。詳細はURLでもご覧いただけます
- 主催：明るい気持ちのあっさり人生塾
- 連絡先：担当：荻野
TEL：0120-106-782(受付9:30~17:30)
URL：http://www.jinsei-jyuku.com

8/21 「宵の口」から始まる 「話す場」話さナイトカフェ(出張ナイト)

リラックスした雰囲気でお話し合えるトークカフェ。今回は場

所を変えて大崎の「食」を味わいながらの開催となります。出
張ナイトならではの特別企画もお楽しみください。

- 日時：8月21日(金)18:30~21:00
- 場所：Avain事務所(大崎市古川台町2-21)
- 定員：20名(先着順)
- 参加費：500円(飲み物・軽食付)
- 申込方法：軽食の関係上、要予約
- 主催：NPO法人おおさき地域創造研究会(担当：堀)
- 連絡先：TEL：0229-25-9956
E-mail：mail@otsk-kiratto.org
URL：http://otsk-kiratto.org/

8/22 第1回「情報モラルを考える」学習会 (3回連続講座)

「情報モラル・倫理とは何か。その場合、道徳や倫理とは何か、
ということから考えてみたいと思います。そのあといくつか
の事例をもとに参加者の方々と話し合う場も持ちます。

- 日時：①8月22日(土)、②9月5日(土)、③9月12日(土)
各日とも15:30~17:00(開場15:00)
- 場所：みやぎNPOプラザ 第1会議室(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 内容・講師：①「情報モラルとは何か」
小島 正美氏(NPO法人地域情報モラルネット
ワーク理事長)
②「SNSとは何か」小島 正美氏(同上)
③「個人情報を守るために」
小松澤 美喜夫氏(NPO法人みちのく情報セキュリティ
推進機構情報セキュリティ推進センターセンター長)
- 対象：情報モラルに関することに関心のある方はどなたでも
- 定員：20名(要事前申込み、先着順)
- 参加費：学生・会員無料、非会員200円(資料代)
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
申込時、氏名、TELまたはE-mail、年齢、
学生の場合は学生と明記してください
- 申込締切：8月20日(木)
- 主催：NPO法人地域情報モラルネットワーク
- 連絡先：TEL：090-6252-3432 FAX：022-243-2409
E-mail：moral2106@gmail.com(事務局)
URL：http://neuis.org/

8/22 ろうあ者社会生活教室

聴覚障害のある方、手話を学んでいるみなさんなど、どなた
でもご参加いただけます。事前申込みはいりません。お気軽
にお越しください。

- 日時：8月22日(土) 13:30~15:30
- 場所：石巻市社会福祉協議会 社協ビル1階ホール
(石巻市中央2-4-20)
※専用駐車場無し。近隣の有料駐車場は利用可
- 内容：「ボランティア入門」あなたにもできるボランティア。
地域で楽しく活動しませんか。
※手話通訳が付きまます
- 講師：渋谷 秀樹氏(石巻市社会福祉協議会 ボランティアセンター所長)
- 申込方法：事前申込み不要
- 主催：宮城県聴覚障害者情報センター(みみサポみやぎ)
- 連絡先：〒980-0014 仙台市青葉区本町3-1-6
宮城県本町第3分庁舎1階
TEL：022-393-5501 FAX：022-393-5502
E-mail：info@mimisuppo-miyagi.org

保育士のいずれか
 ・普通自動車運転免許(AT限定可)
 ※上記に該当しない方でも興味があれば要相談

- 応募主体：NPO法人つばめっこ
- 連絡先：担当：桑原、菊田 TEL：022-372-0031

お知らせ

子育て応援フェスティバルⅧ 準備金のご協力もお願いいたします

「子どものための舞台芸術の鑑賞」に「かえっこパズル(おもちゃのオークション)」、遊び・体験コーナーなど、家族みんなで一日楽しめるイベントです。

- 日時：9月5日(土) 11:00~16:50
- 場所：日立システムズホール仙台
(仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5)
- 内容：下記Facebook専用ページにて随時更新中。
<http://blog.canpan.info/morinoko/archive/227>
- 寄付金：「子ども達のために鑑賞の機会を設ける寄付金」として『舞台鑑賞準備金』へのご協力もお願いいたします
◆郵便口座番号 02270-3-65839
※振込用紙/備考欄に「鑑賞」とご記入ください
- 主催：NPO法人せんだい杜の子ども劇場
- 連絡先：TEL/FAX：022-375-3548
E-mail：morinokodomo@s8.dion.ne.jp

事業案内

おとなの朝活

定期的に運動はしていますか？ヨガ、ウォーキングなど軽い運動で日頃の疲れを癒します。指導者がいますので、運動習慣がない方でも安心して参加できます。

- 日時：平成27年8月23日、9月13日、10月18日、11月1日、12月6日、平成28年1月17日、2月14日、3月6日/毎月1回(日曜)全8回
◎8月~10月 7:00~8:00

◎11月~3月 7:30~8:30

- 場所：多賀城市総合体育館、多賀城市市民プール(多賀城市下馬5-9-3)
- 内容：ヨガ、ウォーキング、ボディケア
- 定員：各回20名(学生を除く18歳以上)
- 参加費：①全8回参加希望の方(回数券付)4,000円
②1回ごとに申込みたい方1回500円
- 申込方法：①事前に総合体育館または市民プールに参加料を納入し、回数券をお受け取りください。参加する都度、回数券を1枚提出してください
②開催日の1週間前までに下記まで申込み
参加料は当日支払い
- 応募期間：平成28年3月1日(火)まで
- 主催：多賀城市教育委員会
- 連絡先：NPO法人多賀城市民スポーツクラブ事務局
TEL：022-365-1918

イベント

8/15 8月 大切な人を亡くした方のわかちあいの会

わかちあいの会では、ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、辛いお気持ちなどを、静かに語り合います。日常生活で語れなかったことを、ご遺族同士でわかちあっていただく安心な場所です。

- 日時・場所：◆仙台会場8月15日(土)【毎月第3土曜】
・時間：14:00~16:30
・場所：あしなが育英会 仙台レインボーハウス(仙台市青葉区五橋2-1-15)
- ◆気仙沼会場8月22日(土)【偶数月第4土曜日】
・時間：13:00~15:30
・場所：気仙沼市民健康管理センター「すこやか」(気仙沼市東新城2-2-1)
- ◆石巻会場9月13日(日)【毎月第2日曜日】
・時間：14:00~16:30
・場所：カリタスジャパン石巻ベース(石巻市末広町3-14)
- 対象：大切な方を亡くされた方(死因は問いません)
- 参加費：無料
- その他：事前の申込みは必須ではありませんが、準備の都合上、ご連絡いただくと助かります
- 主催：NPO法人仙台グリーンケア研究会

ありがとうございます!! 今月の新入会員・継続会員 (2015.7.16現在)敬称略

●正会員 49名

- <仙台市> ●猪狩慎一 ●北尚登 ●NPO法人FORYOUにこにこの家
●NPO法人ICT支援NPOネットワーク宮城
●社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
●社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
- <石巻市> ●NPO法人いしのまきNPOセンター
- <塩釜市> ●NPO法人高齢者サポートチームしおたが
- <名取市> ●NPO法人エフエムなとり
- <山元町> ●NPO法人里山ひろば

寄付・協賛を頂いた方々 <仙台市> ●大西康美

●賛助会員 94名

- <仙台市> ●市川喜巳 ●大西康美 ●木村さち子 ●郡和子
●須長美代子 ●社会福祉法人仙台ビーナス会
●NPO法人おひさまくらぶ 共育を考える会
- <気仙沼市> ●NPO法人ネットワークオレンジ
- <塩釜市> ●塩竈花「浜街道」をつくる市民の会
- <利府町> ●NPO法人生活リハビリクラブきらら
- <名取市> ●NPO法人イー・エルダー東北支部
- <岩沼市> ●最上暁
- <東京都> ●アオイ産業株式会社

会員募集

社の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊社の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	□ 3,000円
賛助会員NPO	□ 5,000円
賛助会員企業・団体	□ 20,000円

■会員には毎月「月刊社の伝言板ゆるる」が届きます。
 ※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座
 口座番号 **02250-0-43800**
 加入者名 **特定非営利活動法人 社の伝言板ゆるる**
 (会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。)

information

7月15日までにゆるる編集部へ届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

協力会員募集(有償ボランティア) あなたの時間を活かしてみませんか?

“ゆうあんどあい”は、会員同士が相互に援助活動を行う法人です。あなた(YOU)とわたし(I)で助け合いの輪を作り、地域に根差した活動を広げ、安心して暮らせるネットワークづくりを目指しています。

- 活動内容：家事援助(主に高齢者対象で掃除、食事作り) 病院通院の介助、入院時の洗濯等
- 活動時間：活動できる曜日と時間を登録していただきます
- 活動謝礼：800円(1時間)
- 活動場所：主に仙台市内
- その他：2時間程度の基礎研修を受けていただきます
- 入会時：入会金2,000円、年会費3,000円
- 応募主体：NPO法人ゆうあんどあい
- 連絡先：ふれあいサロン・榴岡
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-13-18
リラ榴岡1階
TEL：022-792-7020 FAX：022-792-7021
URL：http://npo-youandi.sakura.ne.jp/

ボランティアを体験しませんか? 「ふれあい喫茶体験会」参加者募集!

仮設住宅や店舗・メンバー(組合員)集会室などで、一緒にお茶を飲み、おしゃべりを楽しむサロン「ふれあい喫茶」で一緒に活動してくれるボランティアを募集しています。ご興味がある方は、まず体験会にご参加ください。

- 日時場所：①8月18日(火) 10:00~14:00(仙台市若林区) JR南小泉社宅仮設住宅集会所
②8月24日(月) 9:30~13:30(名取市) 箱塚屋敷団地仮設住宅集会所
③9月1日(火) 9:30~13:00(気仙沼市) メンバー集会室ばけっと
④9月10日(木) 9:30~13:00(石巻市) みやぎ生協蛇田店
- 対象：どなたでも参加可能です
- 参加費：無料・昼食有
※お子さんも一緒に参加できます(託児無し)
- 申込方法：TEL・FAX・E-mailで申込み
- 申込締切：各実施日の前日まで
- 主催：みやぎ生協ボランティアセンター
- 連絡先：みやぎ生活協同組合 生活文化部(担当：山田)
TEL：022-218-3880 FAX：022-218-3663
E-mail：sn.mfukushinet@todock.jp
URL：http://www.miyagi.coop/

有給スタッフ

心の障がい者就労支援 レストラン業務の運営スタッフ(パート)募集

シャロームの会は「どんな時も、あなたはそのまま素晴らしい存在です(シャローム)」という合言葉を理念とし、一人ひとりの限らない可能性と個性を尊重しながら、それぞれの夢をかなえる会として活動しています。

- 業務内容：心の障がい者の就労支援 レストラン業務全般 接客・フロアー業務・調理業務のサポート
※接客と調理経験ある方歓迎
- 就業場所：レストラン「オリーブの風」
(仙台市宮城野区榴ヶ岡5 みやぎNPOプラザ内)
- 勤務日：火曜~土曜のうち3日程度(土曜は必ず勤務)
火曜~金曜9:00~16:00 土曜10:00~17:00
- 休日：月曜・日曜・祝日、ほか
- 給与：時給810円
- 資格：不問 ※調理師免許あれば尚可
- 待遇：交通費支給(当社規定)、加入保険有り
- 応募方法：履歴書(写真貼付)を下記連絡先まで郵送
書類選考のうえ、連絡いたします
- 応募主体：NPO法人シャロームの会
- 連絡先：担当：菊地 茂
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-9-15
パークマンション305
TEL：090-3126-1211 FAX：022-293-3022
E-mail：sko@cocoa.ocn.ne.jp
URL：http://www.sharome.net/npo/

放課後等デイサービス指導員急募!

遊びを楽しむ仕事です。障がいのある子ども(小学生~高校生)と一緒に、さまざまな遊びや社会体験などをします。子どもの成長を共に感じませんか?

- 就業時間：(1)14:00~18:30 (2)9:00~16:00
※学校が休みの日に開所する場合は(2)
※会議などで時間外が発生すること有り
※原則、土曜・日曜・祝日・お盆期間・年末年始は休み
- 就業場所：(1)泉中央つばめっこ(仙台市泉区泉中央2-19-10)
(2)七北田つばめっこ(仙台市泉区七北田字日野123-9)
(3)栄つばめっこ(仙台市宮城野区栄2-2-19)
(4)福室つばめっこ(仙台市宮城野区福室7-6-44)
※マイカー通勤
通勤手当有り(実費支給、上限有り)
- 内容：放課後等デイサービスの指導員として、障がいのある小学生から高校生までを対象に、放課後や長期休暇期間、遊び場を提供。遊びや社会体験などを通じ成長できるように支援します
- 資格：・社会福祉士、介護福祉士、ヘルパー、教員免許



9-10月開催の講座

①NPO法人のための会計初級講座

開催日時 9月18日(金)
13:30~16:30

- 定員:20団体
- 参加費:1,500円(税込)
※改訂版「NPO会計マニュアル」付

②助成金申請を再点検

開催日時 10月2日(金)
14:00~16:00

- 定員:20団体
- 参加費:800円(税込)

③NPO法人の会計基準理解講座

開催日時 10月23日(金)
13:30~16:30

- 定員:20団体
- 参加費:1,000円(税込)

平成27年度仙台市NPO法人組織基盤安定化事業

NPO法人運営力
向上セミナー

始まります!

NPO法人になって間もなく、事務局機能がまだ整っていない仙台市内のNPO法人を対象に、「会計」「税務」「労務」「事務局運営」「認定NPO法人取得促進」など、組織運営力の向上を目的とした様々な講座と専門家対応の相談会を9月から来年3月まで開催します。広く市民の信頼を得ながら、協働によるまちづくりの担い手としての力を発揮できるような組織づくりに取り組みましょう!

主催 認定特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる ・ 仙台市

お問い合わせ先

認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
仙台市宮城野区榴岡3-11-6コーポラス島田B6
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327
[E-mail]npo@yururu.com [URL]http://www.yururu.com/

9-10月開催の個別相談会

会計税務個別相談会

参加費
無料

- 開催日時
- ① 10月23日(金)
17:00~18:00
■定員:1団体
 - ② 10月29日(木)
18:30~19:30
■定員:1団体
 - ③ 10月29日(木)
19:30~20:30
■定員:1団体

会場 仙台市市民活動サポートセンター
〒980-0811
仙台市青葉区一番町四丁目1-3

『会計サポーター』が
日々の会計業務をサポート!



この機会に、会計全般を見直してみませんか。

9月まで無料!

NPO会計に通じた会計サポーターが、あなたの団体を訪れ、団体の状況に応じたアドバイスをを行います。日々の会計に関するちょっとした疑問や悩みなど、一緒に考え解決していきましょう。



会計サポーターとは?

長年の企業会計・経理経験を持ち、NPO法人会計基準を学んだ有償ボランティアです



【サポート内容】 ※税金関係の相談は除く

- ・会計やお金の管理
- ・仕訳や帳簿の作成に関するアドバイス
- ・会計ソフトの設定支援
- ・活動計算書、注記、貸借対照表等の財務諸表作成のサポート ほか

【サポート費用】

1団体3回まで無料
(平成27年9月30日まで)

- ※ただし、派遣回数80回に達し次第終了
- ※1回あたり3時間まで(派遣地域によっては2時間まで)
- ※派遣に要する実費交通費は、ご負担頂きます(派遣地域によっては、補助があります)

【お問い合わせ】

会計サポーターに関する詳細のお問い合わせ、ご依頼はTEL、E-Mailにて、杜の伝言板ゆるるまでお寄せください